

令和 5 年 6 月 20 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2017～2020

課題番号：17H00901

研究課題名(和文) 観光地環境管理と市場活動の統合型計画技術「地域観光プランニング」の詳細化と実装化

研究課題名(英文) Detailing and implementing "Sustainable Destination Planning," an integrated planning technology for tourism destination environmental management and market activities.

研究代表者

川原 晋 (KAWAHARA, SUSUMU)

東京都立大学・都市環境科学研究科・教授

研究者番号：10367047

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 27,400,000円

研究成果の概要(和文)：観光を手段として持続可能な地域づくりを行うために、観光政策・ビジネス分野の考え方や手法と、都市計画・まちづくり分野の考え方や手法の融合をめざした計画論、事業論、およびその具体的メソッドを「地域観光プランニング」として体系化することをめざして研究を進めた。主たる成果は、民間が参画したくなる尖った将来像の策定の形「フロートビジョン」を核とした5フェーズ・30メソッドからなるプロセスモデルの体系化、上記メソッドを活かして、環境やコミュニティ保全とのバランスを図りながら観光ビジネスや観光地経営に繋げる社会実装化の要点の検証、地域観光プランニングの推進人材育成プログラムの開発である。

研究成果の学術的意義や社会的意義

地域の住民や事業者のために、地域環境の保全・整備や課題改善を行う「都市計画やまちづくり」と、地域資源を活かして主に地域外の人を対象に経済活動をする「観光」が結びつく「観光まちづくり」は、言葉としては浸透した。しかし、行政や民間の多分野が連携して観光地域づくりに戦略的に取り組む方法や、地域が観光に取り組むことの合意形成や、観光の負の側面への対応などの課題は、従来の観光学だけ、あるいは都市計画・まちづくり学だけでは突破できない。我々の研究は、理論と実践の往還を通して、計画論・事業論として双方の知見を統合することで、こうした課題に対応できるメソッドの体系を整理できたことに意義があると考えている。

研究成果の概要(英文)：In order to carry out sustainable community development through tourism, we have conducted research to systematize planning theory, business theory, and specific methods as "Sustainable Destination Planning," aiming to integrate the ideas and methods of the tourism policy and business fields with those of the urban planning and community development fields. The main outcomes of the project are: 1) systematization of a process model consisting of 5 phases and 30 methods with "Float Vision," a sharp future plan in which the private sector wants to participate, at its core; 2) verification of the key points for social implementation of the above methods, which will lead to tourism business and tourism destination management while maintaining a balance with environmental and community conservation; and 3) Development of a human resource education program to promote "Sustainable Destination Planning."

研究分野：観光まちづくり

キーワード：持続可能な観光 公民連携 観光地経営 社会実験 プロセスデザイン 人材育成 観光まちづくり 観光地域づくり

1. 研究開始当初の背景

本研究の前身は、平成26～28年度科研費基盤研究(B)「観光まちづくりのための計画技術の体系化と教育技術に関する研究」にある。この前身となった研究を始める時点で、観光地域づくりの現象把握としては、観光地理学や観光経営学、都市計画学の分野から一定程度研究が報告されていた。しかし、自治体等が必要としている「地域社会が恩恵を受ける形で観光をどう戦略的に進めるか」という計画論的アプローチは、観光まちづくりの理念が示されたいくつかの書籍や、観光地のコンサルティング組織の草分けであるJTBFが経験知から提唱した「観光地経営」の概念と方法にとどまっていた。特に、まちづくりと観光ビジネスの目標にはどうしても乖離があり、観光まちづくりの合意形成の難しさが課題として指摘されていた。

そこで、こうした多様な主体による観光まちづくりを進めるには、多主体の合意形成のもとで地域づくりを行ってきた都市計画・まちづくりの計画技術と、観光ビジネスの手法、観光者の視点や行動心理に基づく手法が融合した計画技術としていく必要があると考え、本研究を着想した。共同研究者の中心的学術領域である地域計画分野の立場からは、自然や歴史的環境の保全や、景観や公共空間の魅力化といったハード事業と観光関連事業が連携すれば、より魅力的で質の高い観光エリアが作れるのではないかと、地域の多様な産業や市民のテーマ型コミュニティと観光事業者が結びつけば、もっと魅力的な観光プログラムが作れるだろうし、観光地でないところでも観光を手段としたまちづくりが進められるのではないかと、といった思いがあった。

2. 研究の目的

前身となった上記研究で提起した「地域観光プランニング」の計画論の精緻化と体系化、さらには社会実装化をめざし、次の研究目的を設定した。

①（観光地に限らない）観光地域づくりならでの将来像や関わるべき主体を考慮した「将来ビジョンの合意形成と迅速な実現」を主軸にした計画論、事業論の精緻化と体系化。特に、「観光関連業界との応答」に取り組み、観光ビジネスの立ち上げや観光地経営といった事業論、マネジメント論をより強化したメソッドの抽出。

②地域観光プランニング・メソッドの実践を通じた社会実装化の論点把握とメソッドの精緻化。

③社会実装化の担い手になる地域観光プランニング推進人材育成プログラムの開発。

3. 研究の方法

日本建築学会の都市計画委員会のもとに地域観光プランニング小委員会を組織し、観光と接点を持ちながら地域計画に関わる多様な分野の研究者や実務者と、宿泊事業・交通事業やツアー企画事業などの観光ビジネスの実務者が参画し、研究を進めた。

①については、共同研究者の専門分野ごとの事例調査や、研究者みずから地域での実践に加え、年1、2回の合同調査（ニセコ、別府・由布院、および③のカレッジ対象地）と、定期的な会合によりメソッドの抽出と体系化を行った。

②については、研究代表である川原ほか、共同研究者が関わる各地の観光地域づくりの現場でメソッドに基づく調査や計画策定、事業化を試行することとした。

③「地域観光プランニングカレッジ」と名付けた全国の大学生を対象とした合宿型ワークショップ実施し、育成プログラムの確立をめざした。また類似する合宿型の地域計画系ワークショップとの比較研究を行うこととした。

以上の結果は、随時、本小委員会が主催する日本建築学会オーガナイズドセッションの選抜梗概として蓄積し、日本建築学会大会での研究集会で広く議論を行い、書籍化することをめざした。途中、コロナ禍で、予定していた調査や研究集会在延期や中止になったが、コロナ禍で見えた新たな観光の形や概念、課題も考慮して、持続可能な観光地域づくりについて議論を深めた。

4. 研究成果

(1) 地域観光プランニングの概念整理

「地域観光プランニング」とは、観光を手段として持続可能な地域づくりを行うために、観光政策・ビジネス分野の考え方や手法と、都市計画・まちづくり分野の考え方や手法の融合をめざした計画論、事業論、およびその具体的メソッドの体系である、と定義し進めてきた。

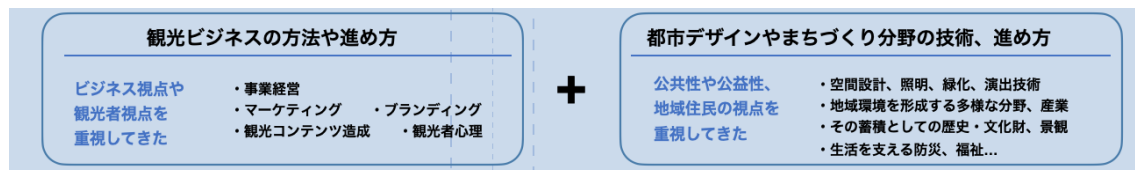


図1 観光分野と都市計画・まちづくり分野の考え方や手法の融合

まず、観光地域づくり等と呼ばれる取り組みが多様化や多義化し、取り組みの分野連携や高度化が求められる中で、その基礎となる考え方を整理した。例えば、今ある地域の環境や資源だけ

を観光対象とした、一時的なイベントやプロモーションが主眼となった施策だけでなく、潜在的な観光資源を発掘し保全してから、市場ニーズに対応して観光対象化や観光ビジネス化につなげる中長期的で戦略的な施策を、行政内の分野連携や公民連携で進めていくイメージを整理し提示した。(図2, 3)

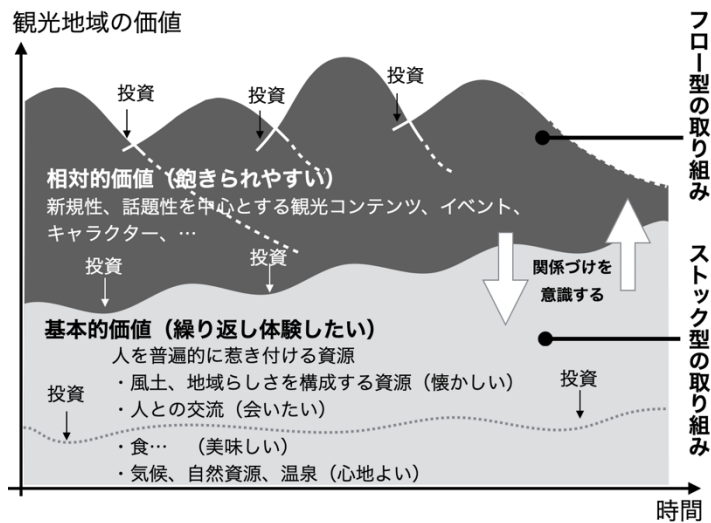


図2 投資分野・頻度と観光地域の価値の時間変化

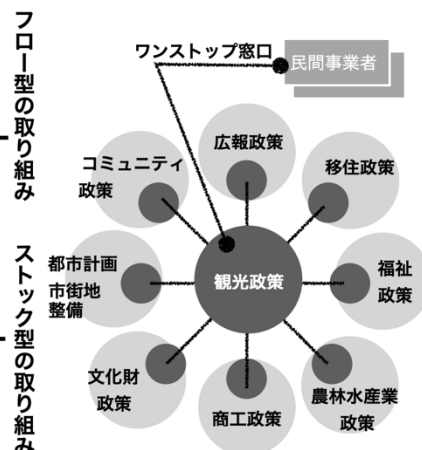


図3 多様な行政施策に観光要素が入る今日、その調整・連携、民間とのワンストップ窓口の必要性

(2) 地域観光プランニングのメソッドの体系化

観光政策・ビジネスの成果と都市計画・まちづくりの成果の融合を図る「地域観光プランニング」のメソッドと体系化の特徴は、主に次のような点が挙げられる。なお、計画対象とする観光行動範囲は、歩いて回れる地区スケールから自治体スケール程度までとした。

特徴① 「フロートビジョン」を核とした5フェーズ・30メソッドからなるプロセスモデル

観光地域づくりの重要なプレーヤーである民間事業者が参画したくなり、行政や市民も共感・応援できる尖った将来像を共有し、社会実験等で具体化と検証をしながら実現させていくことに重点を置いたプロセスモデルを示した(図4)。議論を硬直化させがちな、誰が(who)どのように(how)やるのかはいったん棚上げして、意欲ある官民の人たちが考えていた地域でやりたいことを重ね合わせたシーン(空間イメージ+活動イメージ)の絵と、なぜやるのか(why)、何をやるのか(what)、どこでやるのか(where)を示した将来像を提示し、そこからバックキャスト型で今やるべきことを考えるアプローチである。こうした将来ビジョンなので、行政計画に無理位置づけせず浮かせようにつくるので、「フロートビジョン」と名付けた。このプロセスモデルは、調査により把握した観光地域づくりの推進がうまく行かない、以下のような一般的状況を打開するものである。

- ・観光に必要な、人を惹きつける魅力の議論や目標像より、地域課題の議論が先行してしまう。
- ・観光に必要な魅力的な場やコンテンツ造成より、マネジメントや組織の話が先行してしまう。
- ・観光は、ビジョンを実現する事業や運営管理の主体が行政のみでは完結しない分野であるが、観光ビジネス側の主体が見えないままビジョンが策定されてしまうことが多い、等。

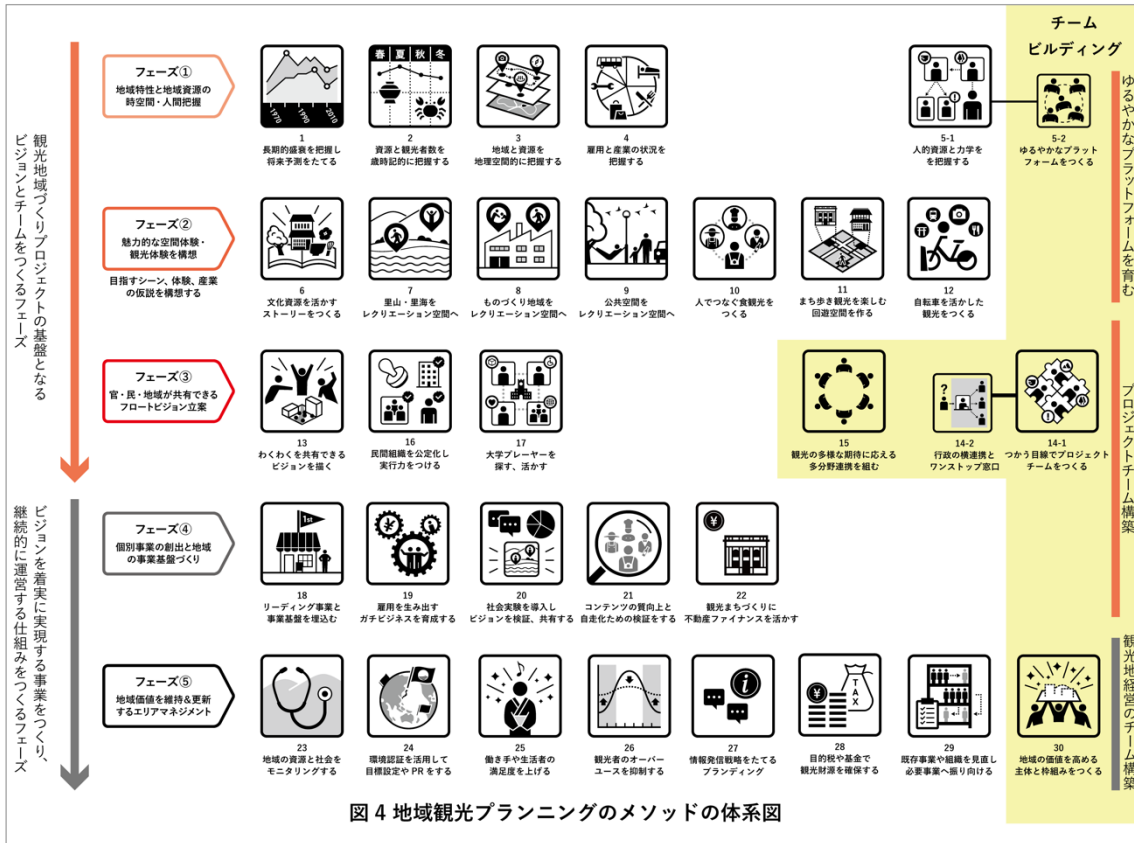
地域計画分野と観光分野の知見を合わせて、このフロートビジョンとその推進チームをいかに作るかが前半フェーズ1, 2, 3であり、共有されたフロートビジョンを着実に実現させる事業を創出し、観光を活かした地域経営を進めるのがフェーズ4, 5である。こうしたプロセスモデルは、必ずしもこの手順で進めるものではなく、地域の環境や取り組み状況を点検し、次の戦略を考える物差しとして利用することを想定した。

特徴② 地域の魅力資源の相関を理解し、観光体験コンテンツ化するメソッドの提示

地域が観光資源を巡るだけの表層的な観光体験の場にすぎなければ、観光が地域のために貢献できることは限定的である。そこで、観光を通じた地域への深い理解や地域内外の交流による人的関係づくり(社会関係資本の形成)に向かうための代表的な観光地域づくりの姿やメソッドを整理した。具体的には、都市づくりの蓄積としての公共空間・緑地や、里山・里海独特の生活・生業環境、産業と深い関係にあるまち等の地域の歴史的・空間的な成り立ちを解説するメソッドと、それをストーリーとして組み立てるメソッド、観光体験コンテンツ化するメソッドを提示している(主にフェーズ1, 2)。地域資源どうしを繋ぐ方法の代表例として、生産から加工・消費までをつなぐ食観光のガイディングや、まちあるき観光を支える都市の回遊空間や自転車等のモビリティなど、多くの地域で応用できるテーマを扱った。

特徴③ 観光地域づくりに資するチームビルディングのメソッドの提示

関心人材をつなぐ、ゆるやかな人的プラットフォームづくりや、地域環境を最終的に使う意思のある事業者が計画策定から運営まで一貫通貫で関わるチームビルディングのあり方等、公民



連携や多様性、多義性が求められる観光地域づくりに必要なチームビルディングのメソッドを整理した。

特徴④ 社会実験を活かして事業と事業基盤をつくり、地域運営につなぐメソッドの提示

フロートビジョンを実現するための観光関連事業（宿泊、飲食、観光コンテンツ…）や環境整備事業の立ち上げと、これらを支える事業基盤（公的位置づけ、組織、ファイナンス、情報マネジメント…）を公民連携でセットするメソッドを整理した。イベント等をフロートビジョン実現のための社会実験として位置づけ、観光行動やニーズ、事業性、課題を検証するメソッドや、観光手法だからこそ可能な広域からの集客と地域への送客を通して、雇用創出や地域課題解決の一助につながるメソッドを整理した。

特徴⑤ ツーリズム行政

本研究が注目され、いくつかの派生的研究が進み成果を得た。（公財）日本都市センターが組織した「都市自治体におけるツーリズム行政に関する研究会（座長 川原晋）」は、地域観光プランニング研究会が提起してきた「中長期的で戦略的な施策を行政内の分野連携や公民連携で進めていくイメージ」を、行政計画分野の専門家等とより具体的に調査研究として進めた。書籍『都市自治体におけるツーリズム行政 ―持続可能な地域に向けて―（2021.04）』を出版した。

<https://www.toshi.or.jp/publication/16790/>

⑥ コロナ禍を経て萌芽した新しい観光概念からの検証と気づき

コロナ禍で大きく顕在化したマイクロツーリズムや仮想体験観光、ワーケーションといった新しい観光の形を、旅の時間軸や空間移動面から整理したうえで、本研究の視点から評価した。また、多様な災害のなかで観光ビジネスの継続性や意義が問われた中で、サステナビリティのトッププランナーと言われるデンマークとドイツの調査を行った。サステナブルツーリズム＝持続可能な観光（という形態）というよりは、「持続可能な社会の中での観光（のあり方）」という捉え方とその実践例の知見を得た。また、宿泊施設が広域から集客し地域に送客したり、宿泊事業が提供できるサービスを地域課題解決の手段として使うといった、観光地域づくりのインフラとして宿泊施設の果たせる役割の先進的な事例を調査することができ、地域観光プランニングのメソッドとして今後追加して行きたい、いくつかの方向を確認できた。

川原晋「欧州で最もサステナブルな島のシンボル Hotel GSH の挑戦～ボーンホルム島の持続可能な社会の実現につながる仕掛けを読み解く～」日本交通公社機関誌「観光文化」256号,2023,02

(3) 社会実装化の試みの成果

本研究における社会実装化とは、我々が理想とする観光地域づくりの文脈のなかで調査から抽出したメソッドを適用し、持続可能な観光地域づくり（環境・コミュニティ）やビジネスに繋げることである。先進事例からはメソッドのみならず、成果の継続性の面での失敗経験も参考にし

ながら主に以下のプロジェクトに適用し、その要点を整理した。

プロジェクト① 長門湯本温泉観光まちづくり

地域の有力旅館の倒産を契機として、温泉旅館経営者と行政、多様な専門家、地元住民、地域金融機関が参画し、まちあるき体験型の温泉街としての刷新に取り組んだプロジェクトである。地域外から誘致した有力旅館が提案した温泉街の刷新構想の公定化、道路・川という公共空間の積極的な民間活用、夜間景観の創出、新規出店者創出支援等を進めた。地域観光プランニング研究会メンバーからも3人が参画した本プロジェクトは、本研究における重要なメソッド抽出事例のひとつであり、持続可能な観光地経営に関わるメソッドの社会実装化の対象でもある。入湯税のかさ上げを財源とするエリアマネジメントや、行政政策転換に左右されないための外部評価委員会の設置とモニタリング、茶陶萩焼という一級の文化・芸術資源を観光活用するための信頼と連携基盤を作るオーラルヒストリー調査の適用などで成果を得た。

これらの成果は、専門雑誌の特集記事、学会論文、地域で配布される冊子などで公表された。また、都市計画学会「計画設計賞」優秀賞(2023年度)、土木学会デザイン賞「最優秀賞」、(2021年度)、2020年グッドデザイン賞などで評価された。

<https://ssm.fpark.tmu.ac.jp/study/project/nagatoyomoto.html>

「造景 2020 特集 "オソト天国"長門湯本温泉街の再生 ～星野リゾートと地域の協働する観光マネジメント～」, 長門湯本温泉街再生執筆チーム, 建築資料研究社, 2020.08

プロジェクト② 八王子中心市街地のフロートビジョンと実現に向けたアクション

～景観絵本「八王子まちなか 景観みらいものがたり」

八王子中心市街地の魅力を高めるまちづくりを景観行政との連携で取り組む方法として、本研究が提唱する「フロートビジョン」の作成を核として進めたプロジェクトである。市民ワークショップと専門家会議の両輪での議論を通して景観絵本「八王子まちなか 景観みらいものがたり」というフロートビジョンを作成し、次年度から市内の複数の大学研究室を中心に数々のアクションを起こした。八王子のまちなかには、古い商家や花街の歴史を活かした民間による魅力的なまちづくりが芽吹いている。景観絵本にはその萌芽をシーンに落とし込んで編集し、まち全体のストーリーとして示した。一方で行政計画にあえて位置づけなかった。絵本のシーンに喚起された学生や市民の発想と行政や地元事業者の支援で、目に見える成果が生まれている。「市民が景観絵本に共感し自分の意見として語ってくれることで、『景観のため』ではなく『地域のために事業をする』という共通目標ができ、市の他部署との庁内連携も促進された。」など、フロートビジョンを核とするプロセスモデルの社会実装化へのメリットを確認できた。この方法は論文公表した。また2023年度国土交通省「都市景観大賞」景観まちづくり活動・教育部門「優秀賞」として評価された。

<https://ssm.fpark.tmu.ac.jp/study/project/floatvision-of-Central-hachioji.html>

(3) 地域観光プランニング推進人材 育成プログラムの開発

①地域観光プランニングカレッジの開催

地域観光プランニングの方法論を体験的に学ぶ、全国の学生を対象とした3～5日の合宿型ワークショップ「地域観光プランニングカレッジ」を3年間3箇所で開催し、プログラムを確立した。開催地は山口県長門湯本温泉×深川萩焼(2017)、北海道ニセコ地域(2018)、三重県伊勢志摩地域(2019)である。教育プログラムとしての側面と当該地域の観光地域づくりへの貢献面から本カレッジプログラムの評価を行った。カレッジを契機として大学ゼミ・研究室で引き続き進められた取り組みをもとに、大学と地域の共創による観光地域づくりへの展開について展望を示した。

また、各大学の観光地域づくり演習教育にフィードバックされた。(観光科学プロジェクト演習Ⅱが東京都立大学2022年ベスト・ティーチング・アワードを受賞。岡村、川原ら。など)

<https://ssm.fpark.tmu.ac.jp/study/theme/human-resources-education.html>

②社会人向け、観光経営人材育成講座の開催

東京都産業労働局による観光経営人材育成講座、および東京都立大学オープンユニバーシティ講座として、研究メンバーによる社会人向けの人材育成講座で、地域観光プランニングの概念と主たるメソッドについての講義を継続開催した(2019～2022)。行政やこけから観光地域づくりに取り組もうとする様々な分野からの実務家への伝え方について検討する場となった。

③地域観光プランニング・メソッドのアイコン化 (図2)

アイコン化により、教育や実務の現場で、事例の特徴を把握したり、地域の状況を診断したり、自己の業務の棚卸しをするツールとして利用する方法を考案した。

④書籍「(仮称) 観光地域づくりの30メソッド」の出版とアウトリーチ活動の布石へ

地域観光プランニングのメソッドを行政、学生、実務者向けに、事例と共に解説した書籍を、上記(1)(2)(3)の成果を集約させ2023年度内に出版予定である。そのエッセンスとしての連続講座を東京都立大学の大学院講義として実施し(2022年度)、動画アーカイブを作成した。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計113件（うち査読付論文 53件 / うち国際共著 1件 / うちオープンアクセス 4件）

1. 著者名 海老沢結, 川原晋, 平田徳恵	4. 巻 33
2. 論文標題 歴史文化資源の保全・継承と観光活用における偉人子孫と行政の取組み比較 - 東京都日野市における新選組の子孫が運営する資料館に着目して -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本観光研究学会 観光研究	6. 最初と最後の頁 75-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18979/jitr.33.3_75	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 石井萌美, 川原晋	4. 巻 33
2. 論文標題 生活文化資源としての銭湯継承とレクリエーションを含む新規需要獲得の取組み - 親族以外が事業承継した銭湯に着目して -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本観光研究学会 観光研究	6. 最初と最後の頁 85-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18979/jitr.33.3_85	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 手代木茜・岡村祐	4. 巻 67
2. 論文標題 海浜観光地における津波防災地域づくりに関する計画策定とその実行に観光事業者が果たす役割 - 伊豆市『観光防災まちづくり推進計画』を事例に -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 1446-1451
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aijt.27.1446	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 岡村祐	4. 巻 -
2. 論文標題 With / Post コロナにおける持続可能な観光地形成	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会大会 都市計画部門パネルディスカッション資料集	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村祐	4. 巻 10月号
2. 論文標題 『2021年版観光白書』の概要とポイント Withコロナの観光動向とPostコロナを見据えた観光再生戦略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Monthly信用金庫	6. 最初と最後の頁 48-52
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋, 日本都市センター事務局	4. 巻 序章
2. 論文標題 都市自治体による今後の観光行政の論点	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市センター報告書, 都市自治体におけるツーリズム行政 持続可能な地域に向けて	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川原晋	4. 巻 2章
2. 論文標題 消費されない観光価値を生むストック型の観光行政へ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市センター報告書, 都市自治体におけるツーリズム行政 持続可能な地域に向けて	6. 最初と最後の頁 39-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 千葉優美子, 川原 晋, 野田満	4. 巻 Vol. 67
2. 論文標題 住民関与の実態とまちづくり活動への展開から見るアーティスト・イン・レジデンスの潜在的意義 - 茨城県守谷市「アークスプロジェクト」におけるアーティスト滞在期間外の取り組みに着目して -	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 682 - 689
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.57.682	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 Jan-34
2. 論文標題 コロナ禍における居住市内宿泊の実態に関する基礎的研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本観光研究学会 観光研究	6. 最初と最後の頁 17-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18979/jitr.34.1_17	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 濱久保衛・伊藤 弘	4. 巻 85 (5)
2. 論文標題 多島海景観享受から捉えた瀬戸内海国立公園の展望地整備のあり方に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 399-404
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5632/jila.85.399	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋	4. 巻 Vol. 2
2. 論文標題 観光まちづくりの具体的な進め方 ~地域観光プランニングの提唱~	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 週刊ホテルレストラン別冊 ホテルをつくるレシピ	6. 最初と最後の頁 38-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋	4. 巻 -
2. 論文標題 個性を活かした観光地域づくりの進め方 考	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 全国市町村会 第84回全国都市問題会議 文献集	6. 最初と最後の頁 104-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 福永裕美, 川原 晋, 益尾孝祐	4. 巻 41(1)
2. 論文標題 生活者によるDIY的景観向上を目指して: 長門湯本温泉「おてがるリノベパンフレット」の手法	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 農村計画学会誌	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村祐	4. 巻 801
2. 論文標題 ファクトリップ Factory x Trip 公・民・学連携で取り組む工場見学プログラム	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 月刊教育旅行	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村祐・菅井純也	4. 巻 -
2. 論文標題 市町村都市計画マスタープランにおける観光分野の記載状況	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本建築学会大会 都市計画部門研究協議会「新たな価値を実現するための都市・都市計画の枠組み」	6. 最初と最後の頁 53-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yurie Kaizu	4. 巻 -
2. 論文標題 Challenge and Issues of the Cooperative Management of National Park - Case Study of Myoko-Togakushi-Mountain -Range National Park, Japan-	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 第2回アジア太平洋自然保護地域会議(マレーシア、サバ州)	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野 浩祥	4. 巻 71(3)
2. 論文標題 観光によって人々が交流する国土：観光概念の拡張へ	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 56-59
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 阿部大輔	4. 巻 113(10)
2. 論文標題 オーバーツーリズムからの教訓：観光と居住環境の保全の両立に向けて	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 47-56
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山近資成, 永野聡	4. 巻 22
2. 論文標題 地元参加型アートの継続的展開による地域らしさの創出に関する研究	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 環境芸術 環境芸術学会論文集	6. 最初と最後の頁 90-95
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋	4. 巻 256
2. 論文標題 欧州で最もサステナブルな島のシンボルHotel GSHの挑戦	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 観光文化	6. 最初と最後の頁 24-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 川原晋, 内田純一	4. 巻 256
2. 論文標題 「不動産再生による観光地づくり」をどう見るか -まちづくりとサービスマーケティングの視点から	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 観光文化	6. 最初と最後の頁 31-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 内海 麻利	4. 巻 75 (8)
2. 論文標題 マネジメントの担い手の実態と展開 : 「貢献」を枠組みとしたマネジメント手法に着目して	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 新都市	6. 最初と最後の頁 92-98
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内海 麻利	4. 巻 70(1)
2. 論文標題 都市計画マスタープランの課題と総合型まちづくり条例	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 64-67
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋, 阿部貴弘, 羽生冬佳, 三浦正士, 米田誠司	4. 巻 -
2. 論文標題 都市自治体におけるツーリズム行政 持続可能な地域に向けて	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本都市センター	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 竹田彩夏, 川原晋, 野田満	4. 巻 55
2. 論文標題 ユニバーサルツーリズムの推進に向けた手話による観光ガイドツアーの実態に関する基礎的研究 - 伊勢神宮内宮をケーススタディとした口話による観光ガイドツアーとの構造比較を通して -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 729-736
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.55.729	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田 徳恵, 川原 晋	4. 巻 63
2. 論文標題 ブルーフラッグの活用による持続的な観光地づくりの可能性 - 日本初認証の2地域に着目して -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 719-724
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aijt.26.719	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋, 梅川智也, 大谷和弘	4. 巻 31
2. 論文標題 観光産業と都市計画の連携～地域が一体となって取り組むこれからの観光地経営～	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 市街地再開発協会広報誌 CITY in CITY	6. 最初と最後の頁 3月12日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原晋, 青木卓也, 石井萌美, 萩焼深川窯振興協議会	4. 巻 -
2. 論文標題 萩焼深川窯史 -萩焼深川窯オーラルヒストリー調査-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 萩焼深川窯振興協議会	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 甲田亮輔, 川原晋	4. 巻 14
2. 論文標題 農家と飲食店, 流通事業者の連携による農産物ブランディングの展開 - 国分寺市「こくベジ」プロジェクトを事例として-	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 観光科学研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡村祐, 日比谷佳乃	4. 巻 18
2. 論文標題 東京都心部における観光案内所の設置に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 208-213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浅野亮平, 岡村祐	4. 巻 19
2. 論文標題 世界遺産ガイダンス施設における地域住民の参画による世界遺産活動に対する影響 世界遺産平泉の拡張登録構成資産:骨寺村荘園遺跡に位置する若神子亭を事例として	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 297-304
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 長谷川千紘, 伊藤 弘, 武正憲	4. 巻 82 (5)
2. 論文標題 岡崎家康公周年祭を事例とした歴史を利用した地域イベントとまちとの関係の変遷	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 677-680
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5632/jila.82.677	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤文彦, 伊藤 弘, 武正憲	4. 巻 82(5)
2. 論文標題 巡礼体験との関係からみた文化遺産「熊野参詣道伊勢路」の推奨される観光に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 583-588
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5632/jila.82.583	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤弘	4. 巻 48(4)
2. 論文標題 近代以降の紀行文にみる平泉における訪問場所と景観の関係	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 環境情報科学	6. 最初と最後の頁 64-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 海津ゆりえ・伊藤渚生・押田佳子・一ノ瀬友博・九里徳泰・田中伸彦・川合康央	4. 巻 18
2. 論文標題 海水浴場利用者の地震津波発生に対するリスク意識に関する研究-相模湾沿岸における夏季海水浴場利用者を題材に-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本都市計画学会 都市計画報告集	6. 最初と最後の頁 201-207
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 黛陽子、海津ゆりえ	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 観光業と漁業が連携したツーリズム研究：三重県鳥羽市を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 文教大学国際学部紀要	6. 最初と最後の頁 99-113
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 Vol. 54-3
2. 論文標題 戦後旧都市計画法下における熱海市の風致地区を巡る議論と運用に関する研究 -市議会での議論経過を中心に-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1343-1350
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.1343	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 -
2. 論文標題 観光客の視点から観光地を捉える	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2019年度日本建築学会大会 (北陸) 建築計画部門寄稿論文集	6. 最初と最後の頁 64-65
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 Vol.31-2
2. 論文標題 平成時代における都市計画領域から観光への接近 -地域住民・行政・学術それぞれの立場から-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本観光研究学会 観光研究	6. 最初と最後の頁 72-73
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo NISHIKAWA	4. 巻 -
2. 論文標題 Government-led demolition of Bankrupted Accommodations in Kaga city, Japan,	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 CHANGING CITIES IV: Spatial, Design, Landscape and socioeconomic dimensions	6. 最初と最後の頁 444
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 -
2. 論文標題 未曾有の国際化に対する地域一丸の取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 観光地経営の視点と実践[第2版]	6. 最初と最後の頁 180-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 55
2. 論文標題 熱海市総合開発計画構想案 (高山プラン) (1960) に基づく高度経済成長期の熱海市都市計画の展開	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1265-1272
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.55.1265	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 779
2. 論文標題 官民による温泉地における廃業施設の更新に関する計画論研究	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 137-147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.86.137	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 靄梨佳, 姫野由香, 指方綾乃, 宮下達平	4. 巻 第59.3号
2. 論文標題 地方都市における機能補完による空き家活用の可能性に関する研究 - 大分県別府市に立地する民泊施設を対象として -	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 377-380
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 指方綾乃, 姫野由香, 宮下達平, 轟木龍介	4. 巻 第60.3号
2. 論文標題 地方都市における民泊施設周辺の施設構成と住民評価の実態 - 大分県別府市の民泊施設を対象として -	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本建築学会九州支部研究報告	6. 最初と最後の頁 321-324
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永瀬節治	4. 巻 22
2. 論文標題 人口希薄地域における観光マネジメント手法の枠組みに関する研究：生活・生業に根ざした文化遺産を有する地域の実例に着目して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 観光学	6. 最初と最後の頁 71-80
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19002/AA12438820.22.71	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Hiroyoshi Sano	4. 巻 -
2. 論文標題 The Possibility of Enhancement of Civic Pride through Tourism	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of APTA 2019 Conference	6. 最初と最後の頁 303-305
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永島奨之, 川原晋, 野田満	4. 巻 Vol.53-3
2. 論文標題 I ターン者による漁業資産の引き継ぎと観光業への転用に関する基礎的研究: 引き継ぎに際する障壁への対応に着目して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1029-1035
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.1029	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水哲夫, 竹本佳文, 川原晋	4. 巻 Vol.53-3
2. 論文標題 観光地駐車場における時間短縮, 事前予約制および付帯サービスの価値推計: 高尾山地区における観光地マネジメント構想実現のための駐車場マネジメントシステムの導入を目指して	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1335-1340
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.1335	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田徳恵, 清水哲夫, 川原晋, 岡村祐	4. 巻 Vol.53-3
2. 論文標題 地域創生事業立案のための自治体職員を対象とする研修プログラムの実践と評価 ~ 地域創生スクールの二年間の取り組み	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 474-481
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.474	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 甲田亮輔, 川原 晋	4. 巻 F-1
2. 論文標題 新宿ゴールデン街を訪れる外国人観光客の期待と店舗の歓迎意向別対応	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 47-50
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中村優里, 川原晋, 片桐由希子	4. 巻 F-1
2. 論文標題 全国都市緑化フェアがもたらすレガシーとその持続性について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 11月14日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 古川尚彬, 赤澤貴仁, 寺澤裕実子, 中西美裕, 川原晋, 佐藤滋	4. 巻 F-1
2. 論文標題 嘉隆帝陵周辺に形成された文化的景観のマネジメント手法としてのエコツーリズムの可能性と課題	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 平田徳恵, 川原晋	4. 巻 F-1
2. 論文標題 持続的な観光地づくりを促すツールとしてのブルーフラッグ認証の可能性 ~由比ガ浜および若狭和田海水浴場の2事例に着目して~	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 甲田亮輔, 川原晋, 古谷梨伽子, 中村優里, 野田満	4. 巻 F-1
2. 論文標題 多主体連携による観光地のプランニング手法としての「観光まちづくりオーラルヒストリー」-東京都八王子市 高尾山地区での実践より-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 青木卓也, 川原晋, 野田満	4. 巻 F-1
2. 論文標題 宿泊型ゲストハウスの内在的問題や対外的関係が運営目的に及ぼす影響に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 海津ゆりえ	4. 巻 1
2. 論文標題 「復興観光論」試論 - 東日本大震災からの復興過程におけるエコツーリズムプロジェクトの考察から	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 2017 - 2018年度国際学部共同研究 トウホク(論)研究: 「復興」と「疎外」の狭間で(奥田孝晴・林薫・海津ゆりえ)	6. 最初と最後の頁 67-114
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuo Kawai, Yurie Kaizu, Shusei Yoshida	4. 巻 28
2. 論文標題 Visualization System for Tsunami Evacuation Behavior	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 SIGGRAPH Asia 2018, Article	6. 最初と最後の頁 2月2日
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森重昌之・海津ゆりえ・内田純一・敷田麻実	4. 巻 33
2. 論文標題 観光ガバナンスの実践に向けた地域外関係者のかかわり方の類型化	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 第33回日本観光研究学会全国大会学術論文集(2018年12月)pp. 237-240	6. 最初と最後の頁 237-240
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森重昌之・海津ゆりえ・内田純一・敷田麻実	4. 巻 30(1)
2. 論文標題 観光まちづくりの推進に向けた観光ガバナンス研究の動向と可能性	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光研究	6. 最初と最後の頁 29-36
掲載論文のDOI(デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 内海麻利	4. 巻 第一法規
2. 論文標題 空間制御における合意形成	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 金井利之編著『縮減社会の合意形成』	6. 最初と最後の頁 248 (138-157)
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中井 陽子, 伊藤 弘	4. 巻 81 (5)
2. 論文標題 桐生市における地域特性と地場産業の継承からみたノコギリ屋根工場の転用の現状評価	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 625-630
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤弘	4. 巻 721
2. 論文標題 世界遺産を活用した観光地整備	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 35-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西悠太, 姫野由香	4. 巻 F-1
2. 論文標題 温泉観光地のライフサイクルと観光資源の管理に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 43-46
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西悠太, 姫野由香, 林孝茂, 濱田菜波, 寺尾勇, 藤田晃亘	4. 巻 1
2. 論文標題 観光戦略を検討するために必要となる観光統計の整備実態と観光地のライフ・サイクル分析への活用可能性	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会研究報告 九州支部	6. 最初と最後の頁 433-436
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kota Maruya, Kei Sakamura, Hiroyoshi Sano	4. 巻 -
2. 論文標題 Practical Research on Creative Tourism in Kanazawa City, Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of APTA 2018 Conferenc	6. 最初と最後の頁 719-725
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 岡村祐, 川原晋, 石川宏之, 泉英明, 泉山壘威, 伊藤弘, 佐野浩祥, 永瀬節治, 永野聡, 西川亮*, 姫野由香, 山崎嵩拓	4. 巻 F-1
2. 論文標題 「地域観光プランニング」における初動プログラムの開発 -地域観光プランニングカレッジ(2017-2018)の実施を踏まえて-	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川宏之	4. 巻 F-1
2. 論文標題 復興まちづくりで減災教育や観光振興に震災遺構を生かす社会関係資本と住民活動のあり方 東日本大震災後の岩手県宮古市と大槌町を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 51-54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石川宏之	4. 巻 No.1276
2. 論文標題 災害遺構を生かす住民活動 洞爺湖有珠山と島原半島のジオパーク	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 建築ジャーナル	6. 最初と最後の頁 22-25
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山崎嵩拓	4. 巻 F-1
2. 論文標題 地域と大学による合宿型まちづくりワークショップの特徴 -4事例を対象とした地域貢献と教育効果の関係に着目して -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮, 梅川智也	4. 巻 33
2. 論文標題 域内調達率向上に向けた調査に関する試論	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本観光研究学会全国大会学術論文集	6. 最初と最後の頁 5月8日
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ryo Nishikawa	4. 巻 18
2. 論文標題 Urban planning for the Yamashiro hot spring by Eika Takayama: The history of urban planning for a tourist destination in Japan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Planning History Society Conference	6. 最初と最後の頁 1140-1151
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 F-1
2. 論文標題 俱知安町ニセコひらふ地区における空間マネジメントに向けた模索	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 39-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 Vol.53-3
2. 論文標題 戦前の林学者による都市計画への接近に関する考察	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 660-667
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.660	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 F-1
2. 論文標題 全国の温泉地における廃業宿泊施設の更新に関する実態と下呂における経験	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 印刷中
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮	4. 巻 1
2. 論文標題 未曾有の国際化に対する地域一丸の取り組み	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 観光地経営の視点と実践[第2版]	6. 最初と最後の頁 180-187
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 梅川智也, 西川亮	4. 巻 8
2. 論文標題 第1章 市町村レベルの観光計画の事例 三重県鳥羽市	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 観光学全集	6. 最初と最後の頁 64-77
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原 晋	4. 巻 vol.66 No.6 329号
2. 論文標題 人口減少社会における観光まちづくりの可能性と進め方 (特集 人口減少社会を救う「観光まちづくり」)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐野 浩祥	4. 巻 vol.66 No.6 329号
2. 論文標題 歴史的資源を活かした観光地の発展過程 : 観光都市・金沢に向けられたまなざし (特集 人口減少社会を救う「観光まちづくり」)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 川原 晋, 賀 佳恵, 永島 奨之	4. 巻 F-1
2. 論文標題 民間駐車場の地域総合型ウェブ予約システムの導入による観光地マネジメントの試行 - 高尾山周辺地区の交通渋滞緩和と観光まちづくり資金の形成を目指して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 89-92
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水哲夫, 川原 晋, 片桐由希子	4. 巻 52巻 第3号
2. 論文標題 観光地における事前予約制駐車場利用に対する料金支払意思額の特性分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 782-787
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.52.782	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李ヨンオン, 川原 晋	4. 巻 11号
2. 論文標題 東・東南アジアにおけるコワーキングスペースの特徴に関する研究 -事業目的と立地都市の状況に着目して-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光科学研究	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 岡田 愛, 川原 晋	4. 巻 11号
2. 論文標題 作業を対価とする滞在システムを利用する訪日外国人とホスト及び地域の関わり方に関する研究 -日本におけるWWOOFの事例を中心に-	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光科学研究	6. 最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 賀 佳恵, 川原 晋, 岡村 祐	4. 巻 11号
2. 論文標題 歴史的町並み地区における外部資本店舗の進出と地域受容に関する研究 - 観光地化する川越の重要伝統的建造物群保存地区を事例に -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 観光科学研究	6. 最初と最後の頁 19-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山崎一也, 岡村 祐	4. 巻 F-1
2. 論文標題 ロンドンオリンピック・パラリンピックにおける競技会場を利用したシティプロモーション戦略 グリニッジ馬術会場の例	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 97-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 劉 羽佳, 岡村 祐	4. 巻 F-1
2. 論文標題 窯業と宗族文化の関係性からみた中国陝西省堯頭村の文化的景観に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 681-682
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 清水苗穂子・海津ゆりえ・森重昌之・九里徳泰	4. 巻 32巻
2. 論文標題 地域主導型観光から見た日本の観光政策の変遷と推進組織の課題	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 第32回日本観光研究学会全国大会学術論文集	6. 最初と最後の頁 9~12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永瀬節治, 柿木理菜, 赤澤由真, 和田隼人	4. 巻 17
2. 論文標題 まちなかの地域資源を活かした公民学連携による体験プログラムの可能性 -和歌山市駅周辺における「市駅まちぐるみミュージアム」の実践を通じて-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 観光学	6. 最初と最後の頁 21-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.19002/AA12438820.17.21	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 永野 聡	4. 巻 Vol.4
2. 論文標題 地域資源を基点とした中山間地域でのシゴト化に向けた取組みの実態と次世代の担い手育成支援に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 パーソナルファイナンス研究	6. 最初と最後の頁 53-60
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日詰博文, 永野 聡, 山田 俊亮	4. 巻 82巻 第741号
2. 論文標題 東日本大震災におけるゆりあげ港朝市の復興過程と地域貢献に関する研究 : 災害危険区域内の商業活動を構成する施設と組合の考察	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2865-2874
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮, 中島直人, 窪田亜矢, 西村幸夫	4. 巻 Vol.82 No.736
2. 論文標題 1933年都市計画法改正による観光町村への法定都市計画の敷衍の特異性 -戦前の観光町村に対する法定都市計画に関する研究 その1-	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1475-1485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.82.1475	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮・中島直人・窪田亜矢・西村幸夫	4. 巻 Vol.82 No.740
2. 論文標題 戦前の別府市における都市計画に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2597-2607
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.82.2597	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西川亮・中島直人・中林浩・西村幸夫	4. 巻 Vol.52-3
2. 論文標題 西山卯三の観光計画論に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本都市計画学会都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 365-372
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.52.365	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西悠太, 姫野由香, 牛苗, 安藤万葉, 林孝茂	4. 巻 F-1
2. 論文標題 観光まちづくりのライフサイクルと計画技術に基づく観光政策の傾向 - 別府市・湯布院町を対象として -	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会大会学術講演梗概集(都市計画)	6. 最初と最後の頁 105-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中井 陽子, 伊藤 弘	4. 巻 81 (5)
2. 論文標題 桐生市における地域特性と地場産業の継承からみたノコギリ屋根工場の転用の現状評価	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 ランドスケープ研究	6. 最初と最後の頁 625-630
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計130件 (うち招待講演 10件 / うち国際学会 8件)

1. 発表者名 海老沢結, 川原晋, 平田徳恵
2. 発表標題 歴史文化資源の保全・継承と観光活用における偉人子孫と行政の取組み比較 - 東京都日野市における新選組の子孫が運営する資料館に着目して -
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 石井萌美, 川原晋
2. 発表標題 生活文化資源としての銭湯継承とレクリエーションを含む新規需要獲得の取り組み - 親族以外が事業承継した銭湯に着目して -
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 狭間辰之, 海老沢結, 川原晋, 山田大樹, 田中滋夫, 佐藤滋
2. 発表標題 嘉隆帝陵エコスタディーツアーとオンラインツアーの組合せに見るエコツーリズムとの親和性 - ヴィエトナム・フエ京城都市の変容に関する研究 (28) -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 青木卓也, 川原晋
2. 発表標題 旅行者主導型コンテンツとしての「猫島」の観光動向や課題と島民・行政の対応実態 「猫島現象」を活かした適切な離島振興に向けて
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 宮下達平, 姫野由香, 轟木龍介
2. 発表標題 地方都市における民泊施設の立地傾向からみる施設間連携の可能性-大分県別府市の民泊施設を対象として-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 佐野浩祥
2. 発表標題 マイクロツーリズムの実態と地域愛着との関係ーシリアスな観光に着目したWebアンケート調査をもとにー
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 永野 聡, 山近資成
2. 発表標題 農山村地域におけるオーセンティケーションにむけた地元参加型アートによる社会ネットワークの構築～まちづくり建築ユニットDoobu大地の芸術祭越後妻有アートトリエンナーレ出展活動を事例として～
3. 学会等名 環境芸術学会2021春季大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 川原晋
2. 発表標題 いまこそ観光まちづくり～コロナ禍で見えてきたこれからの観光～
3. 学会等名 東京都総務局, 東京リカレントナビ(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川原晋
2. 発表標題 観光と景観デザイン～地域らしさの表現から観光シーンづくりまで～
3. 学会等名 東京都総務局, 東京リカレントナビ(招待講演)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 川原晋
2. 発表標題 目的達成や商品磨き上げに活かせる事業検証方法とは?
3. 学会等名 観光庁 地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Ying-Ju Zhang and Yu Okamura
2. 発表標題 Rural Experiential Bookstores As A Strategy For Linking Urban And Rural In China
3. 学会等名 16th International Congress of Asian Planning Schools Association (APSA)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺安菜・岡村祐・篠朱莉・菅井純也
2. 発表標題 御師集落の観光化に関する事例調査 御岳山・羽黒山・大山・戸隠御師集落の立地や施設整備状況に着目して
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 佐野 浩祥, 滝沢 勇人, 山浦 ひなの, 大竹 優太
2. 発表標題 コロナ禍がわが国の宿泊動向に与えた影響と要因 : V-RESASのデータ分析(2020-2021)
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 秦 子, 佐野 浩祥
2. 発表標題 中国におけるボトムアップ型観光振興：河南省修武県における「美学経済活性化政策」を事例に
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 柳 未来, 佐野 浩祥
2. 発表標題 盛岡らしさに関する研究：盛岡市中心市街地イメージマップによる空間構成要素の分析
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 篠朱莉・谷藤健太・手代木茜・平野里穂・岡村祐・野原卓・神谷圭祐・山岸匠
2. 発表標題 コロナ禍における工場一斉公開「オープンファクトリー」のオンライン化の効用と限界 - 東京都大田区におけるおたオープンファクトリーを事例に -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 神谷圭祐・岡村祐・野原卓・山岸匠
2. 発表標題 産業類型に着目した工場一斉公開プログラム「オープンファクトリー」の開催目的と実施内容
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 渡辺安菜・岡村祐
2. 発表標題 御師集落の観光推進と文化継承に関する研究 - 東京都青梅市御岳山御師集落を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 林睦・渡辺安菜・岡村祐・野原卓
2. 発表標題 住工混在地域東京都大田区におけるSDGsツアーの開発と参加者の評価 おおたオープンファクトリー2021でのモニターツアーの実施を通して
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 吉田幹, 永瀬節治
2. 発表標題 都市開発を契機とした公開空地を中心とする公共的空間の一体的活用に関する研究 - 東京都心部のエリアマネジメントが生み出す交流活動に着目して -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 平井千恵, 永瀬節治
2. 発表標題 地方都市における地域観光を軸とした新たなコミュニティ構築の可能性 - 和歌山市駅周辺における「市駅まちなみミュージアム」の5年間の実施結果から -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山崎嵩拓
2. 発表標題 観光地へのライフスタイル移住研究は何を目指してきたか：国際的な研究動向の分析
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 若佐菜, 船津楓河, 山崎友美, 西川亮
2. 発表標題 埼玉県小川町における和紙づくりプロセスの観光活用の可能性(1) 全国の和紙生産地における和紙関連地域資源の観光提供の現状
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 船津楓河, 山崎友美, 若佐菜, 西川亮
2. 発表標題 埼玉県小川町における和紙づくりプロセスの観光活用の可能性(2) 小川町における和紙づくりのシステムの解明
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 山崎友美, 若佐菜, 船津楓河, 西川亮
2. 発表標題 埼玉県小川町における和紙づくりプロセスの観光活用の可能性(3)：大学生を対象としたオンラインモニターツアーの実施による和紙の原料「楮」の観光活用
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 永野 聡
2. 発表標題 地域資源を活用した滞在型ウェルネスツーリズムプログラムのモデル開発に関する社会実験 三重県志摩市の多島海・英虞湾を基点として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 濱久保衛・伊藤 弘
2. 発表標題 多島海景観享受から捉えた瀬戸内海国立公園の展望地整備のあり方に関する研究
3. 学会等名 日本造園学会全国大会発表会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 千葉優美子, 和田拓将, 川原晋, 赤羽祐哉
2. 発表標題 人を惹きつける表現を優先させた将来ビジョン「景観絵本」の策定とその実現への試行 - 行政計画に位置づけない八王子市中心市街地将来像の実現に向けた緑化と修景実験 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 中本夏生, 川原晋, 内矢智貴, 小川史弥, 大谷明日香, 菅原まどか
2. 発表標題 プロジェクトマッピング模型システムの観光・教育分野での活用に向けた実践研究～大学の演習教育と日本遺産センター展示コンテンツ制作を事例として～
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 宮下達平, 姫野由香, 轟木龍介, 横田彩夏
2. 発表標題 住宅宿泊事業法に基づく条例の制定状況と区域制限の実態
3. 学会等名 日本建築学会九州支部研究報告
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 平田徳恵, 川原晋
2. 発表標題 持続的な観光地づくりを促すツールとしてのブルーフラッグ認証の可能性 ~由比ガ浜および若狭和田海水浴場の2事例に着目して~
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 甲田亮輔, 川原晋, 古谷梨伽子, 中村優里, 野田満
2. 発表標題 多主体連携による観光地のプランニング手法としての「観光まちづくりオーラルヒストリー」-東京都八王子市 高尾山地区での実践より-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木卓也, 川原晋, 野田満
2. 発表標題 宿泊型ゲストハウスの内在的問題や対外的関係が運営目的に及ぼす影響に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 古谷 梨伽子, 甲田 亮輔, 関谷 悠, 木田 もも, 川原 晋, 野田 満
2. 発表標題 過疎集落における地域プロモーションビデオの制作と評価 兵庫県洲本市竹原地区を事例に
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小澤真里奈, 川原晋
2. 発表標題 商店街をユニークベニューとするための開催要件に関する研究 MICE レセプション会場としての継続開催に着目して -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石井 萌美, 青木 卓也, 川原 晋
2. 発表標題 文化芸術資源の価値保全に配慮した観光活用のための「観光まちづくりオーラルヒストリー」 -山口県長門湯本温泉に隣接する萩焼深川窯集落における調査からの考察-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 川原 晋
2. 発表標題 観光地域づくりの最前線 ~地域観光プランニング~ハード+ソフト両輪による観光地域づくりの進め方の体系~
3. 学会等名 東京都観光経営人材育成講座(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 持続可能な観光地形成小委員会
2. 発表標題 地域観光プランニングカレッジ2019 in 志摩市浜島町・英虞湾
3. 学会等名 日本建築学会 観光地形成小委員会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永野聡, 山近資成, 高嶺翔太
2. 発表標題 内発的動機に基づいた社会的紐帯の形成に寄与する外部関係者の介入のあり方と役割に関する実証的研究～越後妻有アートトリエンナーレへの作品出展を介した10年間の活動成果を振り返り～
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村祐, 小向光, 手代木茜, 須田万貴
2. 発表標題 祭礼と花柳界の関係：祭礼時における芸妓の芸能披露のシーンに着目して
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村祐, 川原晋, 石川宏之, 泉英明, 泉山壘威, 伊藤弘, 佐野浩祥, 永瀬節治, 永野聡, 西川亮, 姫野由香, 山崎嵩拓
2. 発表標題 「地域観光プランニング」における初動プログラムの開発 地域観光プランニングカレッジ(2017-2018)の実施を踏まえて
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎一也, 岡村祐
2. 発表標題 「五輪景観」を創出するための競技会場計画の設計手法とそのシティプロモーション ロンドン五輪における市内中心部を敷地とした競技会場をケーススタディとして
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小向光, 岡村祐
2. 発表標題 東京都立美術館における収益事業としての施設貸出の現状と課題に関する研究 ファッションショーの実施事例に着目して
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 劉羽佳, 岡村祐
2. 発表標題 陶磁器の流通・販売手法からみた中国陝西省堯頭村の窯業再生に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamura Y., Katagiri Y.
2. 発表標題 Why and How have Walking-Trail Booms Occurred On the Yaen Mountain Pass Route in the Tama Hills, Tokyo
3. 学会等名 4th International Conference on “CHANGING CITIES: Spatial, Design, Landscape & Socio-economic Dimensions (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村祐, 手代木茜
2. 発表標題 海浜観光地における津波防災地域づくりに関する計画策定とその実行に観光事業者が果たす役割 伊豆市『観光防災まちづくり推進計画』を事例に
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 戦後旧都市計画法下における熱海市の風致地区を巡る議論と運用に関する研究 -市議会での議論経過を中心に-
3. 学会等名 日本都市計画学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 全国の温泉地における廃業宿泊施設の更新に関する実態と下呂における経験
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishikawa R.
2. 発表標題 Government-led demolition of Bankrupted Accommodations in Kaga city, Japan,
3. 学会等名 4th International Conference on “CHANGING CITIES: Spatial, Design, Landscape & Socio-economic Dimensions (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 1969年観光政策審議会専門委員会による「観光」の定義創出プロセス
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 都市計画法第34条に基づく市街化調整区域における観光開発に関する研究：都道府県指針を対象として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 日本の文脈からみたオーバーツーリズム
3. 学会等名 JAIST 敷田研究室研究セミナー（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hiroyoshi Sano
2. 発表標題 The Possibility of Enhancement of Civic Pride through Tourism
3. 学会等名 APTA 2019 Conference
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 霧梨佳, 姫野由香, 指方綾乃, 宮下達平
2. 発表標題 地方都市における機能補完による空き家活用の可能性に関する研究 - 大分県別府市に立地する民泊施設を対象として -
3. 学会等名 日本建築学会九州支部研究報告会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 内海麻利
2. 発表標題 「縮退型」都市計画における都市計画法制の課題と論点
3. 学会等名 日本公法学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 内海麻利
2. 発表標題 空間制御における合意形成－地区内の合意、市町村と地区の合意
3. 学会等名 日本政治学会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川宏之
2. 発表標題 東日本大震災後の地域づくりに震災遺構を保存できた要因 仙台市立荒浜小学校と荒浜地区の住宅基礎群を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平井千恵, 永瀬節治
2. 発表標題 伝統産業を柱とした日本遺産認定地域におけるまちづくりの展開に関する研究：和歌山県湯浅町の官民連携による地域活性化のプロセスに着目して
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山崎高拓
2. 発表標題 地域と大学による合宿型まちづくりワークショップの特徴-4事例を対象とした地域貢献と教育効果の関係に着目して-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 海津ゆりえ, 伊藤渚生, 押田佳子, 一ノ瀬友博, 九里徳泰, 田中伸彦, 川合康央
2. 発表標題 海水浴場利用者の地震津波発生に対するリスク意識に関する研究-相模湾沿岸における夏季海水浴場利用者を題材に-
3. 学会等名 日本都市計画学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 原艶艶, 海津ゆりえ
2. 発表標題 自然災害におけるガイドの危機管理に関する一考察 中国の九寨溝におけるガイドを事例として
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 森重昌之, 内田純一, 敷田麻実, 海津ゆりえ
2. 発表標題 地域外関係者の地域へのかかわりの変容とその要因の分析 北海道釧路市の長期滞在事業を事例に
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 清水苗穂子, 海津ゆりえ, 森重昌之, 山本清龍
2. 発表標題 地域主導型観光における推進組織のあり方に関する一考察-三重県鳥羽市・京都府南丹市美山町・兵庫県豊岡市出石町の比較分析-
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 WANG TONG TONG, 海津 ゆりえ, 真板昭夫
2. 発表標題 地方都市における特産品のブランド化に関する研究 岩手県二戸市における取り組みを題材に
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 竹田彩夏, 川原晋, 野田満
2. 発表標題 ユニバーサルツーリズムの推進に向けた手話による観光ガイドツアーの実態に関する基礎的研究 - 伊勢神宮内宮をケーススタディとした口話による観光ガイドツアーとの構造比較を通して -
3. 学会等名 日本都市計画学会全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 石井萌美, 青木卓也, 川原晋
2. 発表標題 文化・芸術資源の価値保全に配慮した観光活用の準備のための『観光まちづくりオーラルヒストリー』調査 - 山口県長門湯本温泉に隣接する萩焼深川窯集落における調査からの考察 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小澤真里奈, 川原晋
2. 発表標題 商店街をユニークベニューとするための開催要件に関する研究 - MICE レセプション会場としての継続開催に着目して -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 益尾孝祐, 長町志穂, 木村大吾, 井元亮佑, 黒田唯香, 川原晋, 泉英明, 福永裕美
2. 発表標題 長門湯本温泉における観光まちづくりと連携した連鎖的なリノベーション事業の実現
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 堀健一郎, 海老沢結, 狭間辰之, 佐藤彩生, 川原晋, 倉田陽平
2. 発表標題 バーチャルリアリティ技術や全天周パノラマ画像, 実時間動画配信技術等のICTを利用したコロナ禍における『現地に行かない仮想的観光』の現状俯瞰
3. 学会等名 観光情報学会第21回研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 狭間辰之, 海老沢結, 川原晋
2. 発表標題 コロナ禍におけるフエ エコスタディーツアーの今後を見据えたオンラインツアーの開発
3. 学会等名 第12回全国エコツーリズム学生シンポジウム
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 手代木茜, 岡村祐
2. 発表標題 海浜観光地における津波防災地域づくりに関する計画策定とその実行に観光事業者が果たす役割 伊豆市『観光防災まちづくり推進計画』を事例に
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 指方綾乃, 姫野由香, 宮下達平
2. 発表標題 大分県別府市における民泊施設の立地傾向と運営形態の実態 - 地方都市における民泊施設を介した施設間連携の可能性 その1 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 姫野由香, 指方綾乃, 宮下達平
2. 発表標題 大分県別府市に立地する民泊施設の機能補完と地域内連携の実態 - 地方都市における民泊施設を介した施設間連携の可能性 その2 -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 指方綾乃, 姫野由香, 宮下達平, 轟木龍介
2. 発表標題 地方都市における民泊施設周辺の施設構成と住民評価の実態 - 大分県別府市の民泊施設を対象として -
3. 学会等名 日本建築学会九州支部研究報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 熱海市総合開発計画構想案（高山プラン）（1960）に基づく高度経済成長期の熱海市都市計画の展開
3. 学会等名 日本都市計画学会全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 都市計画法第34条に基づく市街化調整区域における観光開発に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 姜 華玉, 佐野 浩祥
2. 発表標題 ヨーロッパとアジアにおけるウェルネスツーリズムの比較考察
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 甲田亮輔, 川原 晋
2. 発表標題 新宿ゴールデン街を訪れる外国人観光客の期待と店舗の歓迎意向別対応
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村優里, 川原晋, 片桐由希子
2. 発表標題 全国都市緑化フェアがもたらすレガシーとその持続性について
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 益尾孝祐, 川原晋, 泉英明, 荒井唯香, 長町志穂, 片岸将広, 木村隼斗
2. 発表標題 長門湯本温泉における観光まちづくりと連携したガイドラインの策定
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古川尚彬, 赤澤貴仁, 寺澤裕実子, 中西美裕, 川原晋, 佐藤滋
2. 発表標題 嘉隆帝陵周辺に形成された文化的景観のマネジメント手法としてのエコツーリズムの可能性と課題
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 平田徳恵, 川原晋
2. 発表標題 持続的な観光地づくりを促すツールとしてのブルーフラッグ認証の可能性 ~由比ガ浜および若狭和田海水浴場の2事例に着目して~
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 甲田亮輔, 川原晋, 古谷梨伽子, 中村優里, 野田満
2. 発表標題 多主体連携による観光地のプランニング手法としての「観光まちづくりオーラルヒストリー」-東京都八王子市 高尾山地区での実践より-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 青木卓也, 川原晋, 野田満
2. 発表標題 宿泊型ゲストハウスの内在的問題や対外的関係が運営目的に及ぼす影響に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yurie Kaizu
2. 発表標題 Ecotourism as Recovery Tool from Natural Disasters - Case Study of Miyako, Iwate
3. 学会等名 16th Japan Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 海津ゆりえ
2. 発表標題 文化遺産が映し出すもう一つの風景 名勝・大沢池の風景は誰のものか 「文化遺産と自然のよりよい関係を考える」報告資料
3. 学会等名 平成30年度日本造園学会全国大会ミニフォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西悠太, 姫野由香
2. 発表標題 温泉観光地のライフサイクルと観光資源の管理に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西悠太, 姫野由香, 林孝茂, 濱田菜波, 寺尾勇, 藤田晃亘
2. 発表標題 観光戦略を検討するために必要となる観光統計の整備実態と観光地のライフ・サイクル分析への活用可能性
3. 学会等名 日本建築学会研究報告 九州支部
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡村祐
2. 発表標題 東京都心部における観光案内所の設置・ネットワーク化
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関谷悠, 岡村祐
2. 発表標題 マレーシア・クアラルンプールの都市近郊におけるナイトマーケットの利用実態 TTDIナイトマーケットを事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉羽佳, 岡村祐
2. 発表標題 宗族の再生活動からみた中国陝西省堯頭村の文化的景観に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎一也, 岡村祐
2. 発表標題 平昌冬季五輪における競技会場・施設の招致から開催に至る変遷主会場である平昌五輪プラザと江陵五輪パークをケーススタディとして
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山崎一也, 岡村祐
2. 発表標題 「五輪景観」を創出するための競技会場計画の設計手法とそのシティプロモーションーロンドン五輪における市内中心部を敷地とした競技会場をケーススタディとしてー
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 劉羽佳, 岡村祐
2. 発表標題 陶磁器の流通・販売手法からみた中国陝西省堯頭村の窯業再生に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小向光, 岡村祐
2. 発表標題 東京都立美術館における収益事業としての施設貸出の現状と課題に関する研究: ファッションショーの実施事例に着目して
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 平井千恵, 中野美里, 永瀬節治
2. 発表標題 まちづくり関連施策におけるクラウドファンディングの活用動向 ~ まちなか再生における資金調達に関する研究 ~
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 味村亮佑, 南郁歩, 平井千恵, 永瀬節治
2. 発表標題 漁村における体験型観光の実践的検討と協働体制 -和歌山市雑賀崎地区の持続再生に関する研究-
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 岡美里, 永瀬節治
2. 発表標題 観光活用の視点からみた和紙産地における地域資源の分類 ~和紙産地を対象とした「ものづくり地域観光」に関する研究~
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永瀬節治, 岡美里
2. 発表標題 五箇山における和紙を活用した観光の成立過程と現状 ~和紙産地を対象とした「ものづくり地域観光」に関する研究 その2~
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永野 聡, 山近資成, 高嶺翔太
2. 発表標題 内発的動機に基づいた社会的紐帯の形成に寄与する外部関係者の介入のあり方と役割に関する実証的研究 - 越後妻有アートトリエンナーレへの作品出展を介した10年間の活動成果を振り返り -
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石川宏之
2. 発表標題 復興まちづくりで減災教育や観光振興に震災遺構を生かす社会関係資本と住民活動のあり方 東日本大震災後の岩手県宮古市と大槌町を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 泉山壘威, 宋俊煥
2. 発表標題 サンフランシスコ市におけるDMOとTIDに関する研究～DMOの機能とTID及びBIDとの機能分担及び税負担について～
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川亮, 梅川智也
2. 発表標題 域内調達率向上に向けた調査に関する試論
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Ryo Nishikawa
2. 発表標題 Urban planning for the Yamashiro hot spring by Eika Takayama: The history of urban planning for a tourist destination in Japan
3. 学会等名 International Planning History Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 倶知安町ニセコひらふ地区における空間マネジメントに向けた模索
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 戦前の林学者による都市計画への接近に関する考察
3. 学会等名 日本都市計画学会全国大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 川端 南実希, 川原 晋, 平田 徳恵
2. 発表標題 まち・ひと・しごと創生総合戦略における観光関連評価指標の傾向に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清水哲夫, 川原晋, 稲家雅斗, 賀佳恵, 永島奨之, 竹本佳文, 西浦明子
2. 発表標題 ICTを活用した高尾山地区駐車場マネジメントシステムの考え方とその試行実験
3. 学会等名 土木計画学研究発表会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 益尾孝祐, 川原晋, 泉英明, 荒井唯香, 長町志穂, 片岸将広, 木村隼斗
2. 発表標題 長門湯本温泉における観光まちづくりと連携したガイドラインの策定
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 甲田亮輔, 川原 晋
2. 発表標題 新宿ゴールデン街を訪れる外国人観光客の期待と店舗の歓迎意向別対応
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村 優里, 川原晋, 片桐由希子
2. 発表標題 全国都市緑化フェアがもたらすレガシーとその持続性について
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 古川尚彬, 赤澤貴仁, 寺澤裕実子, 中西美裕, 川原晋, 佐藤滋
2. 発表標題 嘉隆帝陵周辺に形成された文化的景観のマネジメント手法としてのエコツーリズムの可能性と課題
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yurie Kaizu
2. 発表標題 Ecotourism as Recovery Tool from Natural Disasters - Case Study of Miyako, Iwate
3. 学会等名 16th Japan Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 海津ゆりえ
2. 発表標題 持続可能な地域社会の運営に資するエコツーリズムの課題 エコツーリズム推進法認定地域調査に基づく試論
3. 学会等名 日本観光研究学会全国大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 内海麻利
2. 発表標題 地区計画制度の策定手続の意義 - 地区計画に関する制度の成立過程に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡村祐
2. 発表標題 東京都心部における観光案内所の設置・ネットワーク化
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 関谷悠，岡村祐
2. 発表標題 マレーシア・クアラルンプールの都市近郊におけるナイトマーケットの利用実態 TTDIナイトマーケットを事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 劉羽佳, 岡村祐
2. 発表標題 宗族の再生活動からみた中国陝西省堯頭村の文化的景観に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yujia Liu, Yu Okamura
2. 発表標題 Cultural Landscape Preservation of Traditional Settlements from the Viewpoint of the Relationship between Clans and Traditional Ceramic Industries, Yaotou, Shaanxi Province, China
3. 学会等名 14th International Congress of Asian Planning Schools Association (APSA) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 T. Ishimoto, Y. Okamura, K. Eguch
2. 発表標題 Landscape Conservation Policy and Tourism Developments in the Traditional Settlement of Oia, Santorini Island, Greece
3. 学会等名 the International Conference on "Changing Cities" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 岡美里, 妹脊惇史, 吉岡香奈, 永瀬節治
2. 発表標題 地域組織を主体とした市駅前通り社会実験の発展のあり方に関する考察
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 妹脊惇史, 岡美里, 吉岡香奈, 永瀬節治
2. 発表標題 和歌山市中心部における水辺空間の保全・活用を通じたまちなか再生の可能性
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 吉岡香奈, 岡美里, 妹脊惇史, 永瀬節治
2. 発表標題 五箇山の世界遺産緩衝地帯に見られる眺望景観の特色
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永野 聡
2. 発表標題 木曾岬にぎわい市(仮称)を通じた地域人材育成プログラムに関する調査研究 (課題先進地における地方創生への挑戦)
3. 学会等名 地域活性学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 泉山壘威, 宋俊煥
2. 発表標題 サンフランシスコ市におけるDMOとTIDに関する研究—DMOの機能とTID及びBIDとの機能分担及び税負担について—
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石川宏之
2. 発表標題 復興まちづくりで減災教育や観光振興に震災遺構を生かす社会関係資本と住民活動のあり方 東日本大震災後の岩手県宮古市と大槌町を事例として
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 戦前の三重県内町村の観光を意識した都市計画区域設定の議論
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 Urban planning for the Yamashiro hot spring by Eika Takayama: The history of urban planning for a tourist destination in Japan
3. 学会等名 International Planning History Society (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西川亮
2. 発表標題 倶知安町ニセコひらふ地区における空間マネジメントに向けた模索
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西悠太, 姫野由香, 牛苗, 安藤万葉, 林孝茂, 濱田菜波
2. 発表標題 温泉観光地における観光資源の管理に関する研究 - 大分県別府市・大分県由布市湯布院町・山口県長門市湯本温泉を対象として -
3. 学会等名 日本建築学会研究報告 九州支部
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 川原晋, 羽生冬佳, 阿部貴弘, 米田誠司, 三浦正士, 安齋顕考, 野裕作・黒石啓太	4. 発行年 2021年
2. 出版社 公益財団法人 日本都市センター	5. 総ページ数 242
3. 書名 都市自治体におけるツーリズム行政 持続可能な地域に向けて	

1. 著者名 Maria A. Prats, Fernando Merino, Norie Hirata, Susumu Kawahara	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Routledge	5. 総ページ数 -
3. 書名 Blue Flag Beaches Economic Growth, Tourism and Sustainable Management	

〔産業財産権〕

〔その他〕

<p>持続可能な観光地形成小委員会（日本建築学会内の後継研究） https://aij-sustainable-destination.com 地域観光プランニング（川原晋研究室HP内研究紹介ページ） https://ssm.fpark.tmu.ac.jp/study/theme/sustainable-destination-planning.html</p>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岡村 祐 (OKAMURA YU) (60535433)	東京都立大学・都市環境科学研究科・准教授 (22604)	
研究分担者	姫野 由香 (HIMENO YUKA) (10325699)	大分大学・理工学部・助教 (17501)	
研究分担者	西川 亮 (NISHIKAWA RYO) (70824829)	立教大学・観光学部・助教 (32686)	
研究分担者	海津 ゆりえ (KAIZU YURIE) (20453441)	文教大学・国際学部・教授 (32408)	
研究分担者	伊藤 弘 (ITOU HIROMU) (60345189)	筑波大学・芸術系・准教授 (12102)	
研究分担者	佐野 浩祥 (SANO HIROYOSHI) (50449310)	東洋大学・国際観光学部・教授 (32663)	
研究分担者	永瀬 節治 (NAGASE SETUJI) (10593452)	和歌山大学・観光学部・准教授 (14701)	
研究分担者	永野 聡 (NAGANO SATOSHI) (80609149)	立命館大学・産業社会学部・准教授 (34315)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	山崎 高拓 (YAMAZAKI TAKAHIRO) (40814108)	神戸芸術工科大学・芸術工学部・助教 (34523)	
研究分担者	内海 麻利 (UCHIUMI MARI) (60365533)	駒澤大学・法学部・教授 (32617)	
研究分担者	阿部 大輔 (ABE DAISUKE) (50447596)	龍谷大学・政策学部・教授 (34316)	
研究分担者	石川 宏之 (ISHIKAWA HIROYUKI) (50405726)	静岡大学・地域創造教育センター・准教授 (13801)	
研究分担者	泉山 聖威 (IZUMIYAMA RUI) (40774055)	東京大学・先端科学技術研究センター・助教 (12601)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	泉 英明 (IZUMI HIDEAKI)		有限会社ハートビートプラン 代表取締役
研究協力者	森 なおみ (MORI NAOMI)		株式会社インブリージョン プロデューサー

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	片岸 将広 (KATAGISHI MASAHIRO)		株式会社日本海コンサルタント 社会事業本部 計画 研究室 グループ長
研究協力者	渡邊 高章 (WATANABE TAKAAKI)		合同会社頼まちづくり会社 代表

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関